

『禁煙ジャーナル』創刊25周年と 渡辺文学さんの喜寿を祝う集い」へのお誘い

1978年2月18日、東京・四谷の写真文化会館の記者会見の場に、テレビカメラが会場狭しと10台以上詰めかけた。嫌煙権の市民運動が産声をあげた歴史的瞬間だった。

当時は、国鉄（現在JR）の新幹線こだま号16号車1両だけが禁煙車で、その他の特急列車に禁煙車ゼロ、街中も歩行喫煙者があふれ、病院の待合室にも灰皿が置かれていた。東京弁護士会の公害委員会では、たばこを吸いながら大気汚染問題を議論していた。

このような時代背景のもと、“ケンエンケン”という聞き慣れない市民運動が突如、茶の間のテレビに連日大きく映し出されることになった。その後、燎原の火のように、嫌煙権運動への共感と支持が全国的に広がっていった。

あれから36年経過した今日、新幹線をはじめ全国の特急列車は、全車両が禁煙（喫煙車両設置）となり、公的施設はほとんど全面禁煙の他、レストランなども喫煙規制が広がっている。文字通り、隔世の感がある。私たちの市民運動が成功したのには3つの理由があると思われる。

1つは、嫌煙権というネーミングである。“嫌煙”ではなく、“嫌煙権”という権利性をはっきり打ち出したところが画期的であった。非喫煙者の権利をアピールしたことにより、法律家による裁判戦術への道を拓いたといえる。

2つは、思想・信条を超えた一般市民が中心のアクションであったことである。

3つは、渡辺文学氏という得がたいリーダーに恵まれたことである。

渡辺氏は、公害問題研究会の事務局長として、排ガスを告発するNO₂訴訟の原告や入浜権の問題など広く公害問題に取り組んできていた。彼は、当時1日60本のヘビースモーカーだったが、勇躍禁煙を断行し、反喫煙運動に転身する。彼が禁煙していなければ、反喫煙運動の今日の発展はなかったであろうし、彼自身、あちらの世界に逝ってしまっていたかもしれない。

渡辺語録を拾ってみた。

- ・「喫煙という排泄行為も“煙所”で」（週刊アサヒ芸能 1984.11.22）
- ・「JT株 全株売却せよ」（東京スポーツ 1999.11.1）
- ・「がんが減らない『対がん十か年計画』」（がんを治す完全ガイド 2004.2）
- ・「『分煙』の提唱から20年、時代の流れは『無煙』に」（同 2004.5）
- ・「『JTいきいきフォーラム』に異議ありー『死の商人』に協力する報道機関」（同 2004.11）
- ・「『ファッショ』『魔女狩り』論への反論」（同 2005.1）
- ・「国家財政と健康救う『タバコ増税』の実現を」（同 2006.1）
- ・「『禁煙』20の利点ーやめてよかった私の実感」（同 2006.6）
- ・「タバコ問題軽視の『がん対策』に異議あり」（同 2006.8）
- ・「吸いづらい社会実現を」（西日本新聞 2010.6.11）
- ・「たばこ博物館に閉鎖を要請」（週刊金曜日 2014.3.28）
- ・「喫煙所なくしてー川崎市長に要望書」（東京新聞・川崎版 2014.4.26）

最後に、渡辺氏は、WHOから1988年に、「禁煙運動賞」を受賞し、2012年秋には、『禁煙ジャーナル』が、医学ジャーナリスト協会から「協会特別賞」を受賞している。

この度、「禁煙ジャーナル創刊25周年と渡辺文学さんの喜寿を祝う集い」を、別紙の通り開催することにしました。各位の熱烈なご賛同とご参加を心よりお願い申し上げます。

2014年6月吉日

嫌煙権確立をめざす法律家の会代表
嫌煙権訴訟・たばこ病訴訟各主任弁護士
呼びかけ人代表 伊佐山 芳郎

「禁煙ジャーナル25周年と渡辺文学さんの喜寿を祝う集い」にご参加を！

《呼びかけ人》（50音順・敬称略）

會田昭一郎（市民のためのがん治療の会代表）／淺野牧茂（国立保健医療科学院特別研究員）／伊藤好則（アイ・ケイ・ケイ(株)社長）／江田五月（参議院議員）／小川明（ジャーナリスト）／大熊由紀子（福祉と医療・現場と政策をつなぐ志の縁結び係&国際医療福祉大学大学院教授）／大島明（日本禁煙推進医師歯科医師連盟会長）／大橋勝英（新居浜市医師会会長）／岡本光樹（弁護士）／片山徹（晃陽看護栄養専門学校校長）／片山律（弁護士）／小泉武夫（発酵学者・文筆家）／小宮山洋子（元厚生労働大臣）／小若順一（食品と暮らしの安全基金代表）／高信太郎（漫画家）／斎藤麗子（十文字学園女子大学教授）／西條亜利子（東京女子医大東医療センター非常勤講師）／作田学（日本禁煙学会理事長）／清水鳩子（主婦会館理事長）／白石尚（アドベンチスト福祉会理事長）／関口正俊（全国禁煙推進地方議員連絡会代表）／田中けん（江戸川区議会議員）／田中潤（受動喫煙撲滅機構理事長）／高橋是良（タバコ病をなくす横浜裁判原告団長）／塚田啓一（タクシー・ハイヤーの完全禁煙をめざす会幹事）／寺嶋法子（スモークフリー銭湯の会代表）／殿岡哲雄（いばらき無煙社会をめざす会代表）／中久木一乗（タバコ問題首都圏協議会代表）／中田みどり（「嫌煙権」提唱者）／中山脩郎（禁煙、分煙活動を推進する神奈川会議会長）／仲井富（公害問題研究会代表幹事）／長谷章（神奈川県内科医学会禁煙推進委員会委員長）／花村一男（スワンスワン倶楽部代表）／林望（作家）／水鉋健一郎（禁煙ジャーナル編集委員）／平賀典子（禁煙工房主宰）／平田信夫（タクシー・ハイヤーの完全禁煙をめざす会事務局長）／平間敬文（全国禁煙推進協議会会長）／船瀬俊介（医療・環境問題評論家）／藤沢幸三郎（日本禁煙学会認定歯科医師）／藤原久義（禁煙推進学術ネットワーク委員長）／藤巻和（サムシング代表）／紅谷歩（タバコ問題を考える会・千葉代表）／本田宏（済生会栗橋病院医師）／牧野賢治（科学技術ジャーナリスト会議理事）／松沢成文（参議院議員）／松原幹夫（タバコ問題首都圏協議会事務局長）／丸山純（禁煙スタイル管理人）／丸山恵梨子（Smoke-Free World 代表）／見上喜美江（日本禁煙学会無煙映画大賞審査委員長）／水巻中正（医学ジャーナリスト協会会長）／宮崎恭一（日本禁煙学会理事）／村松弘康（東京/日本橋禁煙推進研究会代表）／森田純二（全国タバコフリー推進団体ネットワーク代表）／大和浩（産業医科大学教授）／安井幸一（JT 受動喫煙損害賠償訴訟原告）／山家雅宣（医師・「禁煙賛歌」筆者）

【日 時】2014年7月26日(土)18:30(18:00 開場)

【会 場】プラザエフ(旧主婦会館) 千代田区六番町 15 TEL:03-3265-8111

《交通》JR中央線/東京メトロ丸の内線・南北線「四谷駅」下車2分

【会 費】7000円(ご夫妻、ご兄弟等でのご参加の場合は10,000円とさせていただきます)

「禁煙ジャーナル 25 周年と渡辺文学さんの喜寿を祝う集い」事務局

160-0011 新宿区若葉 1-10 大洋ビル4F サムシング気付

TEL:03-3351-9469/FAX:03-3352-7694

* 7月26日(土)の集いに 出席します 欠席します

会場整理の都合上、7月10日までにご出欠のお返事を賜れば幸いです。

FAX:03-3352-7694 (FAX以外の方は、同封ハガキでお願い致します)

ご氏名: _____

※ [メッセージをお寄せ願えれば幸いです]

